



季刊

# 防災ニュース

2012.9  
第17号

宮前区役所危機管理担当／宮前区まちづくり協議会防災部会

まだまだ続く 台風 シーズン!

台風、土砂災害、ゲリラ豪雨…  
風水害に備えよう!

今年6月、台風4号が襲来しました。

幸いなことに、宮前区では人命にかかわるような被害はありませんでしたが、

倒木や、街路樹の枝が折れて道路上に散乱するというような事態となりました。

台風の季節はまだ続きます。また、昨今は台風だけでなく、ゲリラ豪雨も危惧されております。

宮前区は起伏の多い土地柄のため、土砂崩れなどの土砂災害が警戒されます。

地震だけでなく、風水害にも備えましょう。



台風4号の  
被害を受けた  
神木公園  
2012.6.20

倒木が  
道路を  
遮断



スチール  
フェンスも  
ぐにゃり!



台風  
情報

## まずは情報収集から、 確かな情報を随時チェックしましょう



台風は気象データに基づいて、進行ルートや到達時刻などがかなり正確に予測できます。

被害を最小限に留める準備をするために、以下のような情報源で台風の状況をチェックしましょう。

○テレビ・ラジオ

ニュースや速報などが活用できます。テレビは地上波デジタル放送になったことで、リモコンの「dボタン」を押すと、テレビ局や番組によりますが地域情報が入手できます。

○インターネット

川崎市では「防災気象情報」を5分毎にリアルタイムで公開しております。  
「川崎市防災気象情報」 <http://kishou.kikikanri.city.kawasaki.jp/>

○メール

「メールニュースかわさき」に登録すると、注意報、警報や、地震情報などが配信されます。以下のアドレスに空メールを送ると、登録ができます。  
携帯電話：mailnews-m@k-mail.city.kawasaki.jp  
パソコン：mailnews@k-mail.city.kawasaki.jp

### 「注意報」と「警報」

気象庁は、大雨や強風などの気象現象によって災害が起きるおそれがあるときに「注意報」を、重大な災害が起きるおそれがあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけています。

台風  
対策

## 情報をキャッチしたら、 できる対策をして備えましょう



台風は多くの方が何回も経験している災害です。そのために「今回も大丈夫」と思いがちになってしまいます。しかし、表紙の写真のような倒木や物が飛ばされるという事態も起こりますので、自分でできる対策は、しっかり行っておきましょう。

身の周りの対策の例としては右の図のようなものが挙げられます。

また、台風が近づいてきたらむやみに外出しないことも対策のひとつです。大雨が降っている場合はスリップなどで事故が起こりやすくなっていますので車での外出も控えましょう。





冠水  
被害水が集まりやすい低い土地では  
冠水に対する備えも必要です

低地や谷になっているような場所は、大雨によって、冠水や浸水が引き起こされる可能性があります。冠水が発生すると、自動車が立ち往生し

たり、水没するなどの被害が起きます。やむを得ず外出する場合でも、低地や谷の通行は避けるようにしましょう。

土砂  
災害土砂災害の前兆があったら、  
速やかにその場を離れましょう

台風や集中豪雨に限らず、さほど強くない雨でも何日も降り続いた場合は、土に水がしみ込んで、崩れやすくなります。

右にあげたような前兆が少しでも見られたら、速やかに斜面から少しでも遠いところに離れるようにしましょう。

- ・斜面が膨らんできている。
- ・斜面に亀裂ができています。
- ・雨水が斜面を流れてできた溝がある。
- ・斜面の上や途中に浮いている石がある。
- ・湧水の量が増えたり、濁ったりしている。
- ・雨の日に小石がバラバラと落ちてくる。

## 避難するときの注意事項

- ・長靴ではなく、ひもで締められる運動靴を履きます。
- ・荷物はリュックサックなどに入れ、両手を使えるようにします。
- ・浸水している場所では、側溝やマンホールが見えず転落するおそれがあります。長い棒などを杖にして安全を確かめながら移動しましょう。
- ・歩行できる水の深さは50cmまでと言われていますが、流れが速ければ20cmでも歩けなくなるので注意しましょう。
- ・浸水の状況によって、避難が困難な場合は、建物の上階や屋根に緊急避難しましょう。

※風水害時は通常の避難所以外に、以下の施設も指定されています。

宮前市民館	宮前市民館菅生分館	青少年の家	聖マリアンナ医科大学
宮前こども文化センター	菅生こども文化センター	平こども文化センター	白幡台こども文化センター
有馬こども文化センター	野川こども文化センター	蔵敷こども文化センター	宮前平こども文化センター
有馬老人いこいの家	野川老人いこいの家	白幡台老人いこいの家	平老人いこいの家
鷺ヶ峰老人いこいの家	宮前老人福祉センター	向丘保育園	土橋保育園
向丘乳児保育園	有馬保育園	西有馬保育園	馬絹保育園
菅生保育園	宮崎保育園	南菅生保育園	中有馬保育園
宮前平保育園	平保育園	東泉寺	本遠寺
西蔵寺	泉福寺	長安寺	等覚院
土橋会館	犬蔵公民館	初山会館	神木公民館
南平台集会所	初山団地集会所	長沢クラブ	子育て広場すがお



**集中豪雨**

**集中豪雨、中でもゲリラ豪雨の発生件数は20年前より50%増加\*1**



集中豪雨は限られた地域に短時間に降る大量の雨。特に最近では、突然発生し予測が困難な「ゲリラ豪雨」の被害が多くなっています。

文部科学省・環境省・気象庁が作成した「温暖化の観測・予測及び影響評価統合レポート『日本の気候変動とその影響』」によれば、1時間降水量が50mm以上の雨は、1976年から1986年の年平均160回の発生\*2に対し、1998年から2008年には239回発生しており、20年間で、50%も増加しています。

天気予報で「大気が不安定」と発表されているときや、次のような予兆があったら注意しましょう。

- ・真っ黒な雲が近づき、急に暗くなる
- ・雷鳴が聞こえたり、雷光が見える
- ・冷たい風が吹く
- ・大粒の雨やひょうが降りだす

\*1: 2008年調査

\*2: アメダス1000地点あたりの回数に換算



**落雷に注意!**

集中豪雨は、多くの場合落雷も伴います。外出中に雷が鳴ったら、早めに建物内や車内に避難してください。また、山や広場にいたら、高い木を探して、木の根元から2m以上離れ、姿勢を低くしましょう。そばに寄りすぎると、木に雷が落ちた時にたいへん危険です。送電線の下も安全ですが、電柱からは4mほど離れるようにしましょう。

**竜巻**

**記憶に新しいつくばの竜巻。意外にも多い関東地方での発生**



竜巻は日本のどこでも起きる可能性があります。過去50年で700件以上、毎年10~20件の竜巻が発生しています。地域別でみると1位は沖縄、2位北海道、3位宮崎と続き、意外にも東京が9位と全国でも上位の発生件数。同じく9位には茨城、埼玉と関東地方がランクインしています。

竜巻注意情報が出るなど、竜巻が間近に迫ったら、屋外では頑丈な建物の物陰に隠れる、電柱や木から離れるなどして身を守りましょう。屋内にいる場合は、1階の窓の無い部屋に移動する、窓・カーテンを閉める、丈夫なテーブルなどの下に入って頭を守るなどの行動をとりましょう。

**竜巻注意情報とは?**

「今まさに竜巻などの激しい突風の発生しやすい気象状況になっている」と判断した場合に発表する情報です。積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバーストなどによる激しい突風に対して注意を呼びかける気象情報で、雷注意報を補足する情報として発表します。